

ナンバリング	B①05	科目名	こどもの保健
担当形態	単独	担当教員	有馬 祐子
ディプロマポリシーとの関連性	①, ③, ④		
テキスト	こどもの保健 学健書院・ 子育てハッピーアドバイス 知っててよかった小児科の巻 1万年堂出版		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	2 単位・講義
到達目標	・こどもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解し、説明できる。 ・こどもの身体的な発育・発達について理解し、説明できる。 ・こどもの心身の健康状態とその把握の方法について理解し、説明できる。 ・こどもの疾病の予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解し、説明できる。		
授業の概要	こどもの心身の健康や、身体的な発育・発達と保健に関する基本的な知識を学ぶ。 また、保育及び地域における、他職種間の連携・協働の下での保健活動の実状と、その意義を理解する。また、こどもの疾病の予防及び適切な対応について検討する。 ディスカッション、発表も取り入れ、学習を深めていく。		
授業計画	第 1 回 こどもの環境とは何か 第 2 回 健康とは何か 第 3 回 ヒトの成り立ち・こどもの保健の意義とは何か 第 4 回 生理機能の発達について(脳・呼吸器・循環器) 第 5 回 生理機能の発達について(消化器・排泄・代謝) 第 6 回 運動機能の発達について 第 7 回 精神機能の発達について 第 8 回 感染症の予防について 第 9 回 感染症の適切な対応について 第 10 回 予防接種について 第 11 回 アレルギー疾患の予防および適切な対応について 第 12 回 口と歯の健康と適切な対応について 第 13 回 先天性疾患・その他の疾患について 第 14 回 熱中症について 第 15 回 試験・熱中症の予防と対応について		
準備学習と必要時間	・授業時に与えられた事前課題は、次回授業時までには必ず内容を把握し、出席時に提出すること。(30 分) ・授業の記録は、時々点検する予定なので、提出できるノートを用意し、記録の整理をしておくこと。(10 分)		

	・授業時に取り組んだワークシートは、返却されたら復習できるように整理し、目を通すこと。(30分)				
評価方法	・授業時配付する課題(事前) — 22% ・授業中配付するワークシート — 28% ・期末試験 — 50%				
参考文献	授業中に適宜示す。				
特記事項	配布資料を整理するファイルの準備をお願いします。				
課題へのフィードバック方法	・授業時には必要ないものを整頓し、片付けるべき道具はしまうこと。 ・課題の提出においては、書式、提出期日を守ること。 ・単位を修得できない場合、こどもの健康と安全は履修できません。 ・試験後は、解答を提示します。オンラインで講評します。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格	必修	保育の対象の理解に関する科目
実務経験のある教員等による授業内容					